

長期経営計画2035



人と技術で未来をつむぐ

パーパス

DESIGN NEW ～人と技術で未来をつむぐ～

経営理念のさらに上位に位置する概念として、
当社の社会的な存在意義を表す「パーパス」を設定しました。
当社の存在意義を社会に示すだけでなく、社員の志であり、
共通の価値観です。

DESIGN NEW

直訳では「新しいデザイン・新しくデザインする」となりますが、
『NEW』には、未来、将来の社会や価値も含み、
『DESIGN』はその語源から、
物事の目的を見出し「意味を与える」ことを意味します。
「将来の社会に意味を与える」ことが、社業の基軸になるとともに、
未来に向けて新たな価値創造に挑戦する姿勢を示す思いが込められています。

人と技術で未来をつむぐ

「つむぐ」は、さまざまなものをより合わせ、1つのものを作り出すことです。
当社の活動の源泉である「人」と、強みとして磨いてきた「技術」をより合わせ、
様々なソリューションにより、
豊かな未来を織りなし、将来の社会に意味を与えます。



人と技術で未来をつむぐ

ロゴのデザインコンセプト

人をピンク、技術をブルーの輪で表現しています。重なり合う二色の糸が8の字を描きながら輪になり、未来をつむぐイメージをデザインしました。

ロゴは広島市立大学との
共同研究によりデザインしました
(商標登録出願中)

経営理念

01 地域社会への貢献

信頼される技術コンサルタントとして、顧客や地域社会のニーズを的確に捉え、高度な技術と最適なソリューションにより、安全・安心・快適な地域づくりと発展の一翼を担う。

02 社員と会社の健全な成長

持続可能な企業体として、社員の自律した成長と生活基盤の安定をはかるとともに、会社の健全な成長と強固な経営基盤を構築し、社員と会社、それを取り巻く皆が輝く環境づくりを推進する。

03 弛まぬ挑戦と価値の創造

プロフェッショナル集団として、高い倫理観を堅持し、技術の継承と研鑽・開発を積み重ね、弛まぬ挑戦と新たな価値創造を通じて、持続発展的な企業活動を推進する。

CECビジョン2035

人が中心、技術を追求、信頼を大切にする「地域づくり実践企業」

CECビジョン2035は、経営理念に基づいて2035年に会社が目指すべき姿を示したものです。企業活動の源泉は人であり、人を中心に据えた人的資本経営を推進していきます。

また、私たちが提供するサービスも人を中心としたものでなければなりません。「地域づくり実践企業」とは地域の資源を活かしながら、地域社会の課題を解決し、より良い暮らしを実現するために取り組む企業です。官公庁やライフライン事業者を主たるお客様とする当社にとって、地域づくりに貢献するという基本的な姿勢は忘れてはならないものです。

01 人が中心

社員が最も重要な経営資源であるという考え方に基づき、採用や人材育成など積極的に推進します。社員一人ひとりが大切な財産であり、社員と会社が共に成長することを目指します。

02 技術を追求

当社は、常に高度な技術と最適なソリューションの提供を旨とします。強みである技術を追求することは、組織の価値を向上させるとともに、それを行う社員の探求心を満たし、やりがいや自己実現にもつながります。

03 信頼を大切にする

お客様や地域の人々の立場に立った日常の対応の積み重ねにより、お客様や地域の人々の「信頼」へとつなげていきます。



We move on to the next stage by 2035.



TOP MESSAGE

人が中心の組織づくりを目指して —長期経営計画 2035—

建設コンサルタント業界は、インフラの老朽化対策や自然災害の激甚化・頻発化への対応需要の増加により堅調な事業環境が続く一方で、生産年齢人口の減少による担い手不足をはじめとした社会経済情勢の変化により、様々な経営課題に直面しています。その中で、当社は2015年に始動した長期経営計画2025に基づき取り組みにより、受注額100億円超という事業規模にまで成長することができました。これまでご尽力いただいた諸先輩方や関係者の皆様に深く敬意を表します。

「長期経営計画2035」は、これから私たちが目指していく姿を示した「CECビジョン2035」の実現に向けた今後10年間の道標であり、言い換えれば未来の私たちへの約束です。

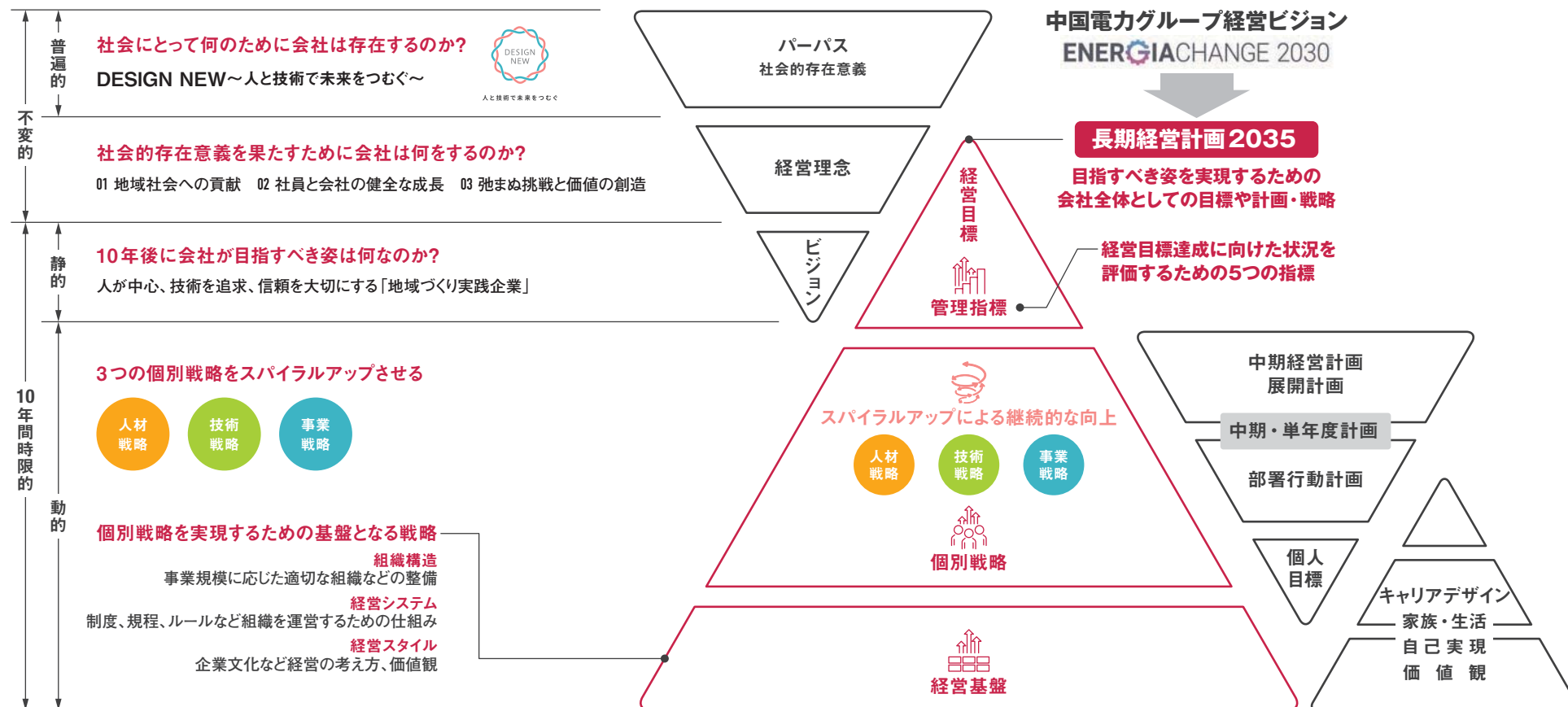
このCECビジョン2035の中で中心となるキーワードは「人」です。当社の事業活動の源泉は社員であり、また、当社の提供するサービスやソリューションも、その成果として形となったインフラの利用者、すなわち地域の人々を中心に据えたものでなければなりません。

これからの10年は「人」にこだわり、人を大切にすることにより、多様性を活かすとともに、自律した社員が輝き活躍できる組織づくりを進めます。

価値観が多様化し、社会のニーズが日々変化する時代の中、私たちは、「長期経営計画2035」に基づき、人を中心とする組織とこれまで磨いてきた技術のさらなる追求により、地域づくりに貢献していきます。

代表取締役社長 森川 繁

長期経営計画2035の全体構造・関係図



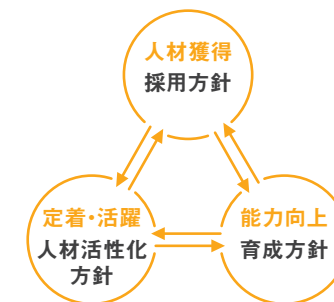
人材戦略

人材の獲得、育成、定着・活躍していくための戦略

求める人材の獲得、自己成長を促す育成、社員が活躍できる環境を整備し、「人を中心」の経営を推進します。

以下の方針により取り組みを進めます。

- ① 求める人材の獲得に向けた採用活動の推進
- ② 社員の自主性を重視した人材育成の推進
- ③ 全ての社員が活躍できる環境の整備



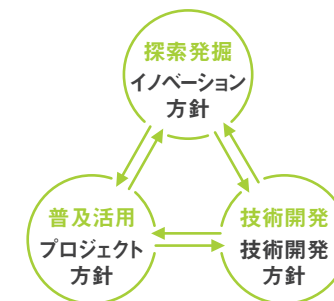
技術戦略

新たな技術の探索と発掘、技術の開発、技術を普及活用するための戦略

お客様・社会のニーズを探索し、シーズを発掘します。ニーズに応える技術・サービスを開発し、全社への普及・活用を推進します。

以下の方針により取り組みを進めます。

- ① 創発型のイノベーションマネジメントの実践
- ② 高度な技術と最適なソリューションの追求
- ③ プロジェクトによる早期の事業化



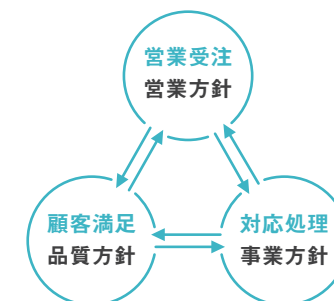
事業戦略

基幹事業と新事業の事業拡大に向けた事業分野の設定や営業、品質向上の戦略

営業と生産が一体となって受注につなげ、迅速かつ適切な対応処理で、顧客満足を獲得し、さらなる受注へとつなげていきます。

以下の方針により取り組みを進めます。

- ① 地域社会のニーズに応える新たな体制づくりと提案型営業の推進
- ② 事業ポートフォリオ (150 億円) と新事業 10 億円の創出
- ③ 最高位の顧客満足度の獲得



経営目標 (2035)

受注額 105 億円



150 億円

社員数 460 人



600 人

管理指標

経営目標を確実に実行するために、達成状況を管理指標として把握します。

項目	管理指標	現状 (2023 年度)
エンゲージメント	エンゲージメントスコア 達成指標 全社平均 10%UP	全社平均 71 点
技術・育成	技術開発投資 継続指標 受注額 4%	受注額 3.8%
	人材育成投資 継続指標 一人当たり 10 万円	一人当たり 7.5 万円
	プロフェッショナル育成 達成指標 プロフェッショナル目標 達成率 100%	実数 142 人 (79%) 総数 240 人 (80%) 技術士保有者数
顧客満足	最高位の顧客満足度 継続指標 評定点 官公庁業務平均 80 点 お客様の声への対応 100%	評定点実績 官公庁業務平均 80.0 点 国土交通省: 80.1 県等: 79.6

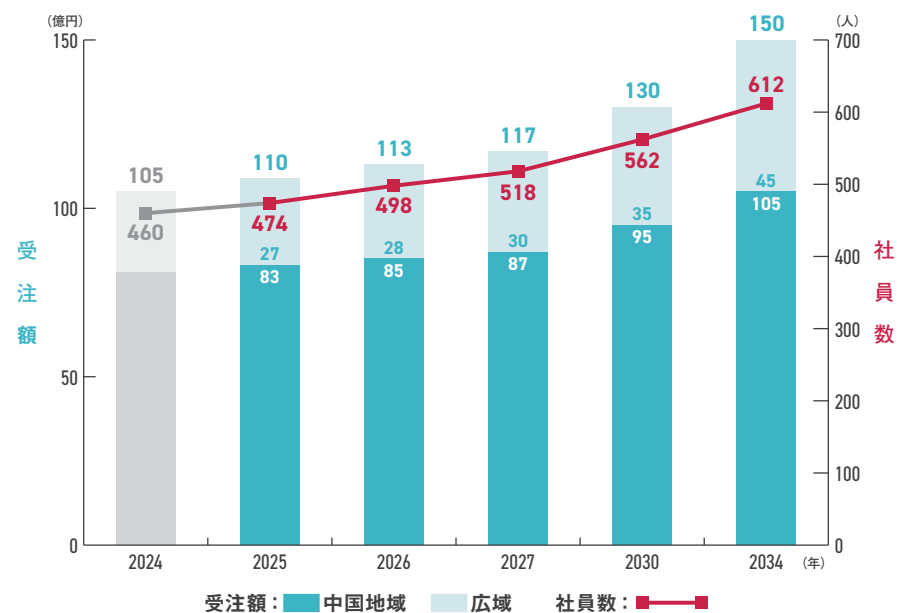
達成指標 2034 年度に達成を目指す指標

継続指標 2025 年度から毎年継続する指標

主要な方針

受注額・社員数の推移目標

経営目標は、経営理念に基づき、ビジョンを実現するために、定量的な目標数値として設定します。経営目標は成り行きで実現するものではなく、理想的な目標を目指します。当社が成長していくための具体的な目標として、**受注額**と**社員数**を経営目標としています。



経営目標達成のシナリオ

定率の上昇及び新事業の受注を見込んだ経年目標を達成します。中国電力グループ経営ビジョン2030の見直し状況を踏まえ、中間年度の2029年度に目標達成状況を検証し、必要に応じて経営目標、管理指標を見直しします。

2034年度の事業ポートフォリオ

事業規模の拡大に向け、新市場（新顧客開拓・エリア拡大）・サービス拡大など成長のための事業ポートフォリオを明確にし、基幹事業の強化と新事業の創出に取り組みます。

		既存サービス	新サービス
新市場	新顧客開拓・エリア拡大	25億円 市場拡大は新顧客開拓と エリア拡大の双方の視点で 新たな市場へ参入	新事業 10億円 電気、ICT、解析、建築分野など、当社の 特色ある技術と建設分野を融合させ、 既存技術の掛け算や先進技術の 導入等により、新たな事業に挑戦
		既存市場	基幹事業

「技術」を
名乗る企業で、
「技術者」として
名乗りを上げろ。



PROFESSIONAL ENGINEERING



HP



instagram



中電技術コンサルタント株式会社
Chuden Engineering Consultants